

主催：長岡京市環境の都づくり会議・環境教育プロジェクト／長岡京市立中央公民館
後援：長岡京市 京都府地域力再生活動

第65回 環境教育ミーティング

入場無料

(平成24年度のテーマ：環境と災害)

自然との対峙

日時：平成25年 1月17日(木)

会場：長岡京市立中央公民館

2階・講座室 夜7~9時

講師：井上博義さん



講師のプロフィール

京都写真家協会 (KPS) 会長
日本写真家協会 (JPS) 関西地区委員長

- 1941 京都市に生まれる
- 1969 京都新聞社「第8回京滋写真京展」にて京都市長賞受賞
- 1980 フリーカメラマンとして独立
- 1988 山と溪谷社 ガイドブック『歩く地図』京都、奈良、大阪、神戸版のグラビア頁を18年間担当
- 1994 ザ・シドニーモーニングヘラルド社『ウィークエンド』誌(オーストラリア) 京都記事写真担当
公益社団法人 日本写真家協会(JPS)会員
公益社団法人 日本広告写真家協会(APA)会員
- 1997 社団法人 日本著作権協議会 会員
- 1999 財団法人 京都新聞社社会福祉事業団『第17回チャリティー美術家と著名人の作品展』出品 以後毎年出品
- 2000 フランスのガラス工芸作家『ルネ・ラリック展』図録担当
- 2006 東京国立博物館『仏像・一木にこめられた祈り』図録担当
- 2008 NHKプロモーション『KAZARI日本美の情熱』図録担当
- 2009 日本写真企画(フォトコン)『京都祇園祭を歩く』薬師洋行氏、川塚錦造氏と合作出版

お話の内容

フィールドにレンズを向けて、見えて来る無限の被写体、ここから自然、社会、経済、家庭、の環境が垣間見ることが出来る。カメラを手にする者にとって、特に自然環境については気にかかる。25年ほど前と比べ悪化への頻度は、鈍化しているようだが決してストップはしていない。

タイの自然保護学者が唱えた言葉に『水は我々が先祖から受け継いだものではなく、孫子から借りているものである』。まさに名言である。「水」を「自然」に、「借りている」を「預かっている」に差し替えて引用したい。

感想をお寄せ下さい

プロジェクトリーダー：西村日出男

Fax: 075-952-3718

sun246ra@mbox.kyoto-inet.or.jp